

今年度第3号のメールマガジンをお届けします。
受験を控えた中学生へ県立高等学校の魅力ある取組など有意義な情報をお伝え
しますので、ご活用ください。
今回も情報量が多くなりましたが、最後までお付き合いください。

なお、県立高等学校についての情報は、以下のホームページを御覧ください。
県立学校「公立高校ホームページ」
⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/kyouiku/school/koukou.htm>

■ もくじ ■

- 1 平成25年度入試に向けた公立高校情報の提供について
 - (1) 地区別公立高校合同説明会
 - (2) 公立高校オープンキャンパス
 - (3) 公立高校ガイドブック・志願理由書の掲載
 - (4) 平成25年度宮城県公立高等学校入学者選抜一覧
 - (5) 公立高校文化祭日程一覧

- 2 高校の特色ある取組（各高等学校からの情報）
 - (1) 白石工業高等学校
＜インターンシップ（就業体験）への取り組みについて＞
 - (2) 古川工業高等学校（全日制課程・建築科）
＜循環型社会に貢献できる産業人材育成事業＞
 - (3) 小牛田農林高等学校
＜ウイノナ国際交流事業＞
 - (4) 一迫商業高等学校
＜スペシャリストへの道筋 ～資格取得と起業家教育～ ＞
 - (5) 石巻工業高等学校
＜専門技術で地域貢献 … 震災で破損した避難路を修復しました。＞
 - (6) 石巻商業高等学校
＜「目指せ！日本一の志を！！」をモットーに＞

- 3 学校紹介スペシャル（各高等学校からの情報）
 - (1) 柴田高等学校
＜宮城県柴田高等学校＞
 - (2) 伊具高等学校
＜「集え、羽ばたけ、21世紀の地球市民」
をキャッチフレーズにした総合学科＞
 - (3) 宮城広瀬高等学校 総務部長 奈須野 文人
＜学校紹介スペシャル＞

- (4) 泉館山高等学校
＜自律・敬愛・貢献＞
- (5) 鹿島台商業高等学校
＜特色あるキャリア教育推進校，課題解決する力を身に付ける「起業家教育」＞
- (6) 石巻西高等学校
＜学習も部活動も全力で。チャレンジ西高！＞
- (7) 気仙沼西高等学校
＜「自分」発見！「夢」実現！・・・無限の可能性を求めて…＞

4 コラム（各高等学校からの情報）

- (1) 中新田高等学校
＜平成24年度・新スローガン
“Active 中高 Innovation”のもと 自分の役割と使命を＞
- (2) 水産高等学校 教諭 増田 雄次郎
＜「ないものは，使わ（え）ない」～宮城丸 遠洋航海～＞

5 お知らせ（各高等学校からの情報）

- (1) 亘理高等学校
＜一日体験入学のお知らせ＞

6 編集後記

■ 1 平成25年度入試に向けた公立高校情報の提供について ■

メールマガジン以外にも，公立高校のさまざまな情報を提供していきます。

□（1）地区別合同説明会

各地区内のすべての公立高校が参加して，6月30日の仙南会場を皮切りに地区別合同説明会が開催されています。これまで6会場での説明会が終了しました。

今後開催予定の説明会は，次の1会場のみとなりますが，ご参加をお待ちしております。

◇本吉会場 7月21日（土）10：00～15：00 気仙沼高等学校
" 7月28日（土）10：00～15：00 "

参加校や説明順番等はホームページに掲載のある実施要項で確認して下さい。
各会場とも駐車スペースに余裕がありませんので，公共交通機関での御来場に御協力下さい。

→＜くわしくはこちら＞

<http://www.pref.miyagi.jp/>

[koukyou/10_教育指導班/2012_goudousetumei/soudan001.html](http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/10_教育指導班/2012_goudousetumei/soudan001.html)

□（２）公立高校オープンキャンパス（学校説明会・一日体験入学）

各高校においてオープンキャンパス（学校説明会・一日体験入学）が開催されています。教育内容の詳しい説明や施設見学，さらには模擬授業や部活動体験など，各学校が工夫を凝らしたプログラムを準備しています。

高校ごとの開催日時，実施内容や申込方法などは，高校教育課のホームページに掲載しています。学校によってはパソコンや携帯電話からも申込が可能です。

→ <くわしくはこちら>

<http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/2012opc/opc001.html>

□（３）公立高校ガイドブック・志願理由書の掲載

今年度（平成24年度）のガイドブックを作成しました。

学校の特色や進路情報だけでなく，入試情報や行事などへの取組み風景を写した写真も多く掲載し，受験生にとって有益な情報が満載です。

また，公立高校入試前期選抜の出願に必要な志願理由書も学校別に掲載されています。志願理由書の内容は，学校ごとに異なりますので，十分に時間をかけて確認して下さい。

→ <くわしくはこちら>

<http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/2012guide/index01.html>

□（４）平成25年度宮城県公立高等学校入学者選抜一覧

平成25年度から始まる新入試制度の仕組み，留意事項，選抜一覧表の見方及び各学校ごとの募集人数，前期選抜に出願できる条件・配点，後期選抜の選抜資料・調査書と学力検査との傾斜配点比率などを一覧表で掲載しています。

各中学校へも配布はしてありますが，こちらからも閲覧できます。

→ <くわしくはこちら>

http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/10教育指導班/2012_senbatsuichiran/senbatsuichiran.pdf

□（５）公立高校文化祭日程一覧

夏から秋にかけて，今年も高校の文化祭が開催されます。生徒が中心となって，文化部のステージ発表や展示発表，模擬店の開催など，各学校とも趣向を凝らしたイベントが行われます。高校生の校内での活動を知る絶好の機会です。

高校教育課のホームページに，開催日時の一覧を掲載していますので，ぜひ訪れて，普段の学習生活だけではない一面もご覧ください。

→ <くわしくはこちら>

<http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/2012manabi/Bunkasai List.pdf>

■ 2 高校の特色ある取組 ■

宮城県の高等学校の特色ある取組についての情報を紹介するコーナーです。

□ (1) 白石工業高等学校

└ <インターンシップ（就業体験）への取り組みについて>

本校のインターンシップ（就業体験）への取り組みは、平成20年度に始まりました。仙南および仙台地域の企業の皆様にご協力をいただき、また、NPO法人仙南広域工業会様、みやぎ工業会様、大河原地方振興事務所様のお力添えをいただきまして実現した次第です。参加生徒数は初年度28名でしたが、平成21年度は99名、平成22年度は156名、平成23年度は177名と参加者数を増やしてきました。

そして、今年度は本校の目標でもありました2年生全員（234名）がインターンシップに参加することとなり、ご協力いただきます企業様は75社となりました。実施につきましては、5学科（機械科、電気科、建築科、工業化学科、設備工業科）と進路指導部で担当する企業を分け、生徒を学科の枠にとらわれずに指導・支援している学科間連携が本校の大きな特色です。

また、インターンシップの“事後のまとめ”にも力を入れ、お世話になりました企業様にもご案内し、10月に「インターンシップ全体報告会」を実施する予定です。報告会には、来年度の事前指導の一環として現1年生も参加します。例年、生徒たちはインターンシップへの参加により実社会に触れ、職業観、進路意識、および専門技術の習得への意欲を高めております。

→<ホームページはこちら> <http://www.shiroishi-kougyou.myswan.ne.jp/>

□ (2) 古川工業高等学校（全日制課程・建築科）

└ <循環型社会に貢献できる産業人材育成事業>

本校では、地域企業と連携し、社会に貢献できる学校づくりと、将来の地域財産となる人材育成を目標に、様々な活動に取り組んでいます。

特に建築科では、「宮城の将来ビジョン推進事業・宮城県震災復興震災事業」の中の「循環型社会に貢献できる産業人材育成事業」に取り組んでいます。授業の中では、基礎的・基本的な知識を学びながら、産業廃棄物の再利用・有効利用を含めた循環型社会に貢献できる技術者・技能者を育成しています。内容としては、廃棄物の発生抑制やリサイクル産業の振興等に関して、関係企業や団体から支援を受けながら、基礎的研究や実践的な事業に取り組むといったものです。

具体的に一年生では、津山町林業研究会と連携し、植林活動に参加します。二年生ではリサイクル施設等を見学し、3R（リユース、リデュース、リサイクル）について学習します。三年生は課題研究の中で、震災の教訓を生かして簡易間仕切りを作成したり、伝統技術・文化の継承として釜神様を作成したり、地域にある建物を見学し、地域に根付くような建物を設計・計画したり、様々な取り組みをしています。

以上のような活動を通し、計画・設計・施工といった建築に必要な知識・技能を学びながら、職業観・勤労観を身に付け、地域を支える人材の育成を図っていきたいと考えています。

→<ホームページはこちら> <http://furukk-h.myswan.ne.jp/>

□（３）小牛田農林高等学校

└ <ウイノナ国際交流事業>

本校では美里町国際交流事業に参加して、１０年前から毎年アメリカ、ミネソタ州、ウイノナ市へ希望する生徒を７名程度派遣しています。（ＰＴＡから一部補助があります。）今年も１０月下旬に出発して、１０日間訪問します。翌年４月にはウイノナの高校生を受け入れています。ウイノナ市はミシシッピー川の畔にある自然が豊でアメリカでも暮らしやすい街のひとつです。

空港からウイノナ市に到着すると、ホテルではホストファミリーを始め、すでに多くの市民の方が待っていてくれ、大歓迎を受けます。翌日からホームステイです。ホストシスター、ブラザーと一緒にハイスクールで授業を受けたり、休日は家族と一緒に観光やショッピングを楽しんだりします。ピザパーティー、ハロウィンパーティーもあります。さらに、アメリカ最大の「モール・オブ・アメリカ」でのショッピングも楽しみのひとつです。言葉はあまり通じなくても、いつの間にか本当の家族のようになっています。

この４月にもウイノナの人々が学校を訪れ全校生徒と交流会を持ち、２日目には、授業を受けたり、餅つきを一緒に行ったり、放課後は剣道や柔道、相撲の各部を見学し、中には相撲部の生徒と一緒に相撲を取ったりし、楽しいひとときを過ごしました。

この様な機会も小牛田農林ならではと思います。

→<ホームページはこちら> <http://kogotanourin.myswan.ne.jp/>

□（４）一迫商業高等学校

└ <スペシャリストへの道筋 ～資格取得と起業家教育～ >

本校は、平成２２年度全国商業高等学校協会主催の検定試験において、県内初となる１級７種目取得者が２名、６種目取得者が５名出ました。３種目以上取得者は２０名で、県内の商業高校の中でもトップクラスの取得状況です。平成２３年度も１級３種目以上取得者が多数出ました。これは、授業のみならず、年間を通じた朝補習、検定前の放課後補習で教職員と生徒が一体となって努力している証です。卒業生は、本校で身につけた専門的知識・技術や勤労観が高く評価され、専門技術や資格を活かし社会で活躍しています。

また、平成１７年度に文部科学省の指定を受けた、栗原版デュアルシステムにも継続して取り組んでいます。流通経済科では販売実習と起業家研究を行います。全学科対象の選択科目「企業実習」では約２０日間の長期企業実習を行っています。今後とも地域の皆さんの支援をうけながら、なお一層の発展を目指しています。

本校は、小規模校の特性を活かし、家族的な雰囲気の中で教職員生徒が一体となって勉学に資格取得に、そして部活動に励んでいます。

→<ホームページはこちら> <http://ichisho.myswan.ne.jp/>

□（５）石巻工業高等学校

└ <専門技術で地域貢献 … 震災で破損した避難路を修復しました。>

本校は、石巻医療圏健康・生活復興協議会と連携して、石巻市門脇町と日和山を結ぶ石階段の補修作業を5月に行いました。同協議会が津波浸水地域で在宅被災者の訪問をした際に、避難経路として使用する石階段が崩れて困っているとの話を聞き、土木科のある本校が相談を受けたことがきっかけになりました。地域への貢献と専門知識を生かす良い機会だということで承諾し、作業日程や人数の調整を行いました。

5月1日の学年行事において、3年生の生徒約50人を中心に1回目の作業を実施しました。その後も数日間本校生徒会有志のメンバーで作業を進めてきました。最終日の5月26日には日和山から門脇町への降り口付近で、コンクリートの土台の上に階段をつくるための長方形の石を並べました。仕上げにデッキブラシで磨いて、作業が完了しました。

完成後、実際に住民の方に階段を歩いてもらい、これなら安心だと感謝していただくことができました。今後も自らが学んだことに誇りを持ち、地域と手を携えながら積極的に社会に貢献することのできる生徒の育成を目指していきます。

→<ホームページはこちら> <http://ishiko.myswan.ne.jp/>

□ (6) 石巻商業高等学校

| <「目指せ！日本一の志を！！」をモットーに>

昨年、創立100周年を迎えました！今年は、101年目の新たなスタートとなります。

平成24年度の石商生チャレンジ目標を

(1)『品格を育む高校生活』・・・爽やかなあいさつ、端正な身だしなみ。

(2)『切磋琢磨の高校生活』・・・切磋琢磨とは学問やスポーツに努め励むこと。

また仲間同士で励まし競い合って向上すること。自分の素質をたゆまぬ努力によって磨き上げ、学問にスポーツに励もう。

以上2点を掲げ、校是「独立自尊」の精神に恥じない学校生活をおくることを目指しています。

東日本大震災により、被災した生徒が多数いますが石商生は強くたくましく、勉学に部活動に目標を持って励んでいます。今年の卒業生は、就職・進学ともに100%の決定となり、まさに「就職も石商 進学も石商」を達成してくれました。

【学習活動】

商業の各分野に関する基礎・基本的な内容の習得を目指し、さらに実践的・実務的な専門知識や技能を身につけて多様な個性の伸長を図るようにします。また、ビジネスの活動のスペシャリストとしての人材の育成を目指します。2学年からは、自分の進路や興味・関心を踏まえ、より専門性を高めるために、大きく「会計類型」と「情報類型」に分かれます。さらに、3学年では、実際に石巻専修大学のキャンパスで、大学の講座を受講できる「高大接続研究事業」も行っています。

より高度な上級資格を取得し、それを武器にした大学進学も可能です。取得できる資格は、簿記検定、販売士検定、秘書検定、英語検定、基本情報・ITパスポート（国家試験）等があります。

【部活動】

昨年度の主な活動成績

カヌー部・・・インターハイ上位入賞、国体出場、海外遠征

陸上競技部・柔道部・珠算部・・・東北大会出場

簿記部・・・全国大会出場

英語スピーチコンテスト・・・全国大会出場

どの部活動も、全国大会目指して熱心に活動しています。

石商は、「就職も石商！進学も石商！部活動も石商！」を目指しています。

→＜ホームページはこちら＞ <http://sekisyo.myswan.ne.jp/>

■ 3 学校紹介スペシャル ■

高等学校の特色ある取組を含めて学校の取組全体をくわしく紹介するスペシャルコーナーです。

□（１）柴田高等学校
| <宮城県柴田高等学校>
└

<学校の概要について>

特色ある高校教育推進への社会的要請に応えるため、生徒の能力・適性に対応する学習指導を強力に展開し、普通科の他に本県初の体育科を設けています。すぐれた徳性，高い知性，強健な身体と強い意志を持ち，未来を開拓する創造力と実践力に富み，次代を担うことのできる有能な人物を育成することと，学力向上・競技力向上のための指導を強化しています。

<教育課程の特色について>

<普通科>

- ・普通教科の学力向上を通して進路希望を実現します。
- ・1年生では，学習習慣を確立し，基礎学力の向上を図ります。
- ・2年生では，基礎力を更に充実させるとともに社会，理科などに選択を取り入れ，それぞれの得意分野を伸ばします。
- ・3年生では，文系・理系の2つに分かれ，きめ細かい指導を行っています。

<体育科>

- ・体育系大学への進学をはじめ，公務員，民間などのスポーツ振興に関連した職業への従事者を育成します。
- ・スポーツで全国レベルの活躍ができる選手育成を目指します。
- ・県内トップクラスの施設・設備と経験豊富な指導者のもとで，充実した部活動が行われます。

<行事・生徒会活動・部活動について>

行事としては普通科・体育科共通のものとして，柴高祭・体育祭・芸術鑑賞会があります。普通科では2年次に修学旅行，体育科では1年次・2年次にスキー実習が行われます。

部活動では陸上競技，柔道，剣道，ウエイトリフティング，体操競技，水球・水泳は，創立以来，東北大会，全国大会へ出場し，入賞を果たしています。また，他の運動部でも県内上位の実績を誇り，全国大会出場を目指しています。さらに，本校では特色ある文化部も校内外問わず活躍しています。

<本校の期待する生徒像について>

<普通科>

- ・意欲を持って学習に取り組み，自分自身を高めたい生徒。
- ・進路について明確な目標を持ち，その実現に向けて努力する生徒。
- ・生徒会活動・部活動等で意欲的に取り組む生徒。
- ・生き生きとした規律ある学校生活を送りたい生徒。

<体育科>

- ・体育系大学への進学をはじめ，公務員，民間などのスポーツ振興に関連した職業

に従事したい生徒。

- ・学習と部活動を両立し、明確な進路目標の実現に向けて努力する生徒。
- ・スポーツ活動で高い実績を保持している生徒。
- ・スポーツで全国レベルの選手として活躍したい生徒。

＜我が校のPRポイント＞

創立26年目を迎え、更なる発展へ向け、生徒・教員が一丸となって取り組んでいる学校です。全国で活躍している部活動が多く運動部加盟生徒も多数です。学習と部活動の両立を目指し、「感動・チャレンジ・夢実現」を合言葉に社会に貢献できる人材の育成を目指しています。仙台大学と高大接続事業を結んでおり、大学の専門的な講義を受講できます。幅広い視野と思考力を身に付けることができる環境が整っています。

→＜ホームページはこちら＞ <http://sibata.myswan.ne.jp/>

□（２）伊具高等学校

｜ ＜「集え、羽ばたけ、21世紀の地球市民」を

｜ キャッチフレーズにした総合学科＞

○大正9年4月17日に宮城県伊具農蚕学校としてスタートし、今年で92年目を迎えた学校です。数回の校名変更及び学科改編で、現在の伊具高等学校・総合学科に至っています。現在は4つの系列（農学・機械・情報・福祉）からなり1学年120名定員です。

○農学系列 地域性を生かした農業生産や、その活用に関する知識と技術を身に付けます。

機械系列 コンピュータ制御による最新工作機械（NC・MC）の操作、溶接・旋盤技術等に関する知識を身に付けます。

情報系列 変化の激しい現代社会において、それに対応できるビジネスに関する知識や技術を身に付けます。

福祉系列 高齢社会に対応する、心身ともに健康で豊かな生活を支えるための知識と技術・態度を身に付けます。

○進路指導 3年間を見通した計画的・継続的指導を行っています。

1年次は「進路意識の確立」、2年次は「希望進路への準備」、3年次は「進路の実現」を目指しています。

→＜ホームページはこちら＞ <http://igu.myswan.ne.jp/>

□（３）宮城広瀬高等学校 総務部長 奈須野 文人

｜ ＜学校紹介スペシャル＞

1 本校の施設が新しくなります。

本校の諸施設の移設工事が始まっています。プール・武道館・弓道場・テニスコート（オムニコート）・部室棟・食堂・駐輪場などが新しいものに生まれ変わります。現在は既存施設の解体作業中ですが、今年度中に完成する予定です。

2 ボランティア活動に対する取り組みを紹介します。

本校の教育課程では、年間を通じて一定時間のボランティア活動に取り組んだ生徒に対して、学校設定教科「社会体験」の学校設定科目「ボランティア活動」としての単位認定を行っています。4月に説明会を行い、「ボランティア手帳」を交付して、生徒が活動を記録していきます。学年末に「ボランティア手帳」を

提出し、諸条件を満たしていれば、会議を経て単位認定（例年は30名前後）ということになります。1年間で修得できるのは2単位まで、3年間では6単位まで修得できます。主な活動内容としては隣接の「県立こども病院」とその関連施設である「マクドナルド・ハウス」や近隣の「老人ホーム」などへの訪問、「落合市民センター祭り」、「仙台青葉まつり」、「みちのくYOSAKOIまつり」、「仙台七夕花火祭ボランティア」、「盲導犬育成募金」、「あしなが募金」、児童を対象とした「読み聞かせボランティア」などがあり、多岐にわたります。

→<ホームページはこちら> <http://hirose-h.myswan.ne.jp/>

□（４）泉館山高等学校

├ <自律・敬愛・貢献>

└-----
泉館山高校は、毎年100名以上の国公立大学合格者を出している、県内でも有数の進学校です。特に、東北大学、宮城教育大学、宮城大学、山形大学の4大学を合わせた現役合格者数は県内トップクラスです。この実績を支えているのは、授業に集中し、朝早くから、また、放課後遅くまで教室や廊下で勉強を続ける館高生の真摯な姿勢と、学習についての質問や進路相談など、いつでも全力でサポートする先生方との信頼関係によるものです。

さらに、館高には多くの行事があります。三行大行事と呼ばれる球技大会（7/4）、翠縦祭（9/1, 2）、体育祭（10/2）をはじめとして、すべて生徒が中心となり企画、運営されます。クラスや学年の団結が深まり、言葉では言い尽くせない充実感と達成感が味わえます。部活動では、6月の高校総体で、ソフトボール部、男子バレーボール部、女子バスケットボール部、テニス部等が、県ベスト8に入りました。陸上部からは、走り幅跳び（女子）で県2位、東北大会出場者が出ています。文化部では、6月4日に、過去全国大会（普門館）3年連続出場経験のある吹奏楽部が、仙台高校とジョイントコンサートを行いました。また、3年生女子が管打楽器ソロコンテストで金賞（河北新報社賞）を受賞しました。今年の夏のコンクールでも、ぜひ館高バンドの「響」を味わってください。もちろん他にも、全国大会出場常連の囲碁将棋部や放送部、羽織袴スタイルの伝統の応援団もあります。それぞれの部が創意工夫を凝らし、熱心に活動しています。

このように本校には、生徒一人ひとりを輝かせる活動がたくさんあります。文武にバランスがとれ、満足度の高い高校生活が送れる学校なのです。

自律・敬愛・貢献の校訓を胸に、日々進化し続ける学校、それが泉館山高校です。

→<ホームページはこちら> <http://izumit-h.myswan.ne.jp/>

□（５）鹿島台商業高等学校

├ <特色あるキャリア教育推進校、課題解決する力を身に付ける「起業家教育」>

└-----
本校は、大崎地域で唯一の商業高等学校です。平成22年度より「魅力ある県立高校づくり支援事業」の研究指定を受け、キャリア教育の推進に力を入れています。

その特色の一つとして、課題を解決する力を身に付けることを目的として、「起業家教育」を実施しています。その内容は、①大学、行政、民間企業と連携した「キャリア教育推進協議会」を設置し、地域からの指導・助言を受けること。②外部講師による「起業家教育プログラム」・「ビジネスマナー講座」などの特色ある授業づくりに努めること。③宮城大学の学生チューターによるグループワークへの

参加。④大崎市に関するミッション（使命）に則した課題解決学習について、成果を発表する「学習成果発表会」があります。

1年生で販売実習，2年生で就業体験，3年生では課題解決学習と，体験学習を重視しています。その他の，本校の特色ある取り組みについての詳細は，ホームページをご覧ください。

→<ホームページはこちら> <http://kasimadai-ch.myswan.ne.jp/>

□（6）石巻西高等学校

| <学習も部活動も全力で。チャレンジ西高！>

本校では最近の3カ年で「学力向上実践研究推進事業」の指定を受け，生徒の学力向上と教員の授業力の向上に取り組んできました。引き続き平成24年度は文部科学省から「先進的英語教育充実支援事業」の指定を受け，「学ぶ力」の向上に努めています。今年度は『自ら考え，ともに高め合う授業づくりの研究』をテーマに各教科で取り組んでいます。10月には公開研究授業を行います。

次に，本校の特色として国際理解の推進が挙げられます。「交流から支援・貢献そして共生へ」という方針のもとに講演会や交流会を実施しています。また総合的な学習の時間の中で，チューター制による本校の教員団手づくりの国際理解をテーマとした授業も実施しています。また，平成24年度は韓国への修学旅行を予定しています。

部活動も活発に行われています。全国レベルの空手道部・弓道部を筆頭に，どの運動部も日々の練習に懸命に励んでいます。また文化部も多くのコンクール等で入賞している吹奏楽部，美術部，文芸部をはじめ，どの文化部も日々の活動に励んでいます。

以上のように，勉強に部活にと全力で取り組んでいるのが石巻西高校です。

→<ホームページはこちら> <http://inisi.myswan.ne.jp/>

□（7）気仙沼西高等学校

| <「自分」発見！「夢」実現！・・・無限の可能性を求めて…>

●2・3年次で3つの類型に分かれて学習

本校は，地域における特色ある学校づくりの一環として，3類型制（進学・情報・福祉）を導入しています。生徒の特性や多様な進路に応じたきめ細かな学習内容を基本とし，生徒の進路達成のために取り組んでいます。1年次は共通履修で，2年次から3つの類型制に分かれて学習します。

●進学類型

進学類型は，さらに2クラスに分けて，少人数での指導を展開しており，習熟度別学習や進路に応じた選択教科を設けるなど，きめ細かい学習を行っています。進学先は大学・短大・専門学校と多岐にわたっており，特に看護専門学校への進学において成果をあげています。

●情報類型

従来の情報系の学習を深めるために専門的な分野を取り入れ，さらに商業系の学習にまで発展させ，即実社会に対応できるようなカリキュラムになっています。おもにワープロ検定や情報処理検定，簿記検定などの資格取得を目指すための学習に重点をおいています。

●福祉類型

主に介助を必要とする人に豊かな生活を送っていただく目的から、福祉に関する学習を取り入れています。2年次では訪問介護員2級の資格を取得することができ、3年次では実際に近隣の福祉施設に行き、交流会や実際の仕事を体験することができます。生徒は資格取得の実現のために校外実習等にも意欲的に取り組んでいます。

→<ホームページはこちら> <http://knisi-h.myswan.ne.jp/>

■ 4 コラム ■

高等学校の校長先生、一般の先生、生徒代表などが、「我が校」に対する想い、最近の話題などについて語ります。その高校の新しい魅力が発見できるコーナーです。

□ (1) 中新田高等学校

| <平成24年度・新スローガン

| “Active 中高 Innovation”のもと 自分の役割と使命を>

中新田高校では、学校全体のスローガンを、平成22年度から「Active 中高 Innovation」（アクティブ・なかこう・イノベーション）」としています。Activeとは「積極的な」「活動的な」という意味で、「受け身で消極的な活動・行動から、自主的で積極的な活動・行動への脱皮をはかり、新たなことにチャレンジする中高生」への期待がこめられています。また Innovation は「新しいアイデアから意義のある新たな価値を創造し、大きな変化をもたらす自発的な人・組織の幅広い変革」を指します。

このスローガンのもと、平成23年度には、

- (1) 東日本大震災復旧ボランティアへの積極的な参加
- (2) インターハイカヌー競技でのカヌー部優勝及び補助員として全校あげでの運営
- (3) 第3学年ビジネスコース生徒による「鳴子峡アンケート調査報告及び交流人口ニーズに応えるプレゼンテーション・鬼に金棒プロジェクト」参加・発表
- (4) 英語実践モデル校事業

など、生徒・教職員一丸となって取り組み、実績をあげてきました。

さて、そのスローガンを今年度から、「“Active 中高 Innovation”のもと 自分の役割と使命を」と改めました。中新田高校の生徒・教職員は、東日本大震災後の復旧・復興のため、自分（生徒・教職員・学校）の役割と使命をさらに一層自覚し、いろいろな学校活動に励んでいこうとの意味が付け加わったのです。そしてこの新しいスローガンのもと、例えば4月の加美町初午祭（はつうままつり）では、生徒会や有志ボランティアによる震災復興のための募金活動や清掃活動を行いました。また、授業を初め学校行事や委員会活動、部活動等にも日々励み、学校の内外で活躍しているところです。（詳しくは、7月26日開催の本校オープンキャンパスで説明します。）

中学生のみなさんも、「“Active 中高 Innovation”のもと自分の役割と使命を」もつ本校で、みなさんの無限の可能性を追求してみませんか。

詳しくは本校ホームページをご覧ください。

→<ホームページはこちら> <http://nakani-h.myswan.ne.jp/>

□ (2) 水産高等学校 教諭 増田 雄次郎

| <「ないものは、使わ(え)ない」～宮城丸 遠洋航海～>

宮城県水産高校・航海類型三年生は、実習船宮城丸にて4月25日～6月22日の59日間、遠洋マグロ延縄実習にいてまいりました。私も指導教官として乗船し、2ヶ月もの間、生徒たちと、まさに寝食を共にしてきたわけです。17～18歳の若者が、今までの日常からかけ離れた生活を経験したこともあり、とても充実したものになりました。

延縄操業やハワイ上陸など興味のわくようなことは沢山ありますが、あえてここでは、洋上にて思ったことを一つ取り上げさせてもらいます。

それは、「ないものは、使わ(え)ない」ということです。

“テレビも携帯電話もない生活”が、現代の高校生に果たしてできるでしょうか？我々、大人でさえ携帯電話中心の生活になっています。食事中や会話中に携帯電話が鳴ったとき「ちょっとすみません」(これすら言わない場合もある)とって電話に出てはいないでしょうか。恥ずかしながら私はやってしまいます。これが当たり前のようになっていきますね。船の中で生徒たちは広いとは言えない生徒食堂で互いに肘をぶつけながら食事をしました。もちろん船内では、携帯電話は鳴ることがなく、テレビも見られません。

そうやって38人の生徒が2ヶ月間(3食×59日=177食)、同じ釜の飯を食べて生活してきました。毎日見ていたテレビ、常に触っていた携帯電話が使えなくとも、その空間や時間を楽しむために、目の前の友人とたわいのない話をしながら食事をしてきました。

これは「使えるのに使わない」という我慢ではありません。船の中では「ないものはない」ため、「あるもので楽しむ」ために様々な工夫をします。携帯電話がないなら隣にいる友人と楽しく話をすれば良いし、テレビがなくても海を眺めれば涙が出てきそうな景色が広がり、夕焼けやイルカなど、普段見られないものがたくさんあります。

今の世の中、情報も含め“もの”が溢れかえっています。我々も自分の生活をもう一度見直して、“本当に必要なもの”と、そうでないものを見極める時期かもしれません。案外ない方が楽しかったりすることもあるかもしれません。無事帰港して陸の生活を見直してみると、大切なことは“便利さ”とはかけ離れたところにあるのではないかと感じられる2ヶ月間でした。単に“便利さ=時間の短縮”になりがちにはなっていませんか。

→<男たちの航海の様子が満載！> <http://miyagisuisan.myswan.ne.jp/>

■ 5 お知らせ ■

高等学校からのさまざまなお知らせのコーナーです。

□ (1) 亶理高等学校

| <一日体験入学のお知らせ>

中学生のみなさんこんにちは！

「こんにちはわり わくわくわたこう」を合い言葉に、亶理高校の明るく楽しい

学校生活を体験してみませんか？本校は様々な分野の学科があるととてもユニークな学校です。一日体験入学ではそれぞれの学科やコースの特徴を生かした多彩な体験プログラムを用意しています。

◆ 亘理高校一日体験入学

8月1日（水）9：00～（8：40～受付）

- | | | |
|------------|---|---|
| 普通科（普通コース） | … | ①英語「Let's enjoy English」
②保健体育「ゴミ処理について」 |
| 普通科（園芸コース） | … | 「草花・野菜の栽培をしよう」 |
| 食品化学科 | … | 「知って作ろう！アイスクリーム」 |
| 商業科 | … | 「写真でオリジナルムービー Show!!」 |
| 家政科 | … | ①「簡単にできる小物製作」
②「デザートを作ろう」 |

ぜひ亘理高校の一日体験入学で未来の自分を体験して下さい！

※申込みがまだの方は、遠慮なく学校までご連絡ください。

電話 0223-34-1213 Fax0223-34-2310

→＜ホームページはこちら＞ <http://watari-h.myswan.ne.jp/>

■ 6 編集後記 ■

今号では、7月4日（水）に公立高校の来年度入試の概要を発表したことに関連し、公立高校ガイドブック、志願理由書及び平成25年度宮城県公立高等学校入学選抜一覧の記事を掲載しました。

まもなく夏休みを迎え、中学校3年生の皆さんは進路決定に向けて重要な時期を迎えることとなります。学校ではもちろんのこと、ご家庭内での話し合いの場でも上述の資料は有効に活用していただけるものと考えております。

少しでも入試に対する不安が解消され、受験に集中できることを願っております。

これからも「高校教育課 情報メール」をよろしく申し上げます！

◇◇高校教育課 情報メール（メールマガジン）◇◇

○発行：宮城県教育庁高校教育課

〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8-1

TEL：022-211-3626 / FAX：022-211-3696
